

神奈川県立商工高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和6年度 商工高等学校 第3回 学校運営協議会
開催日時	令和7年3月21日（金）13：30～15：00
開催場所	会議室
出席者	塩原 正美 後藤 宗治 兼田 宗明 小澤 芳明 中 清士 中村 和彦（意見聴取のみ）
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度 学校評価報告書（実施結果）</li> <li>・令和6年度 卒業生の進路状況</li> <li>・資格取得状況</li> <li>・商工高校図書室来館者統計・貸出冊数統計</li> <li>・令和6年度 総合ビジネス科の取組み</li> </ul>
議事録	<p>（1）校長挨拶【校長】</p> <p>今年度の入選では、例年より高い倍率で選抜を行うことができた。私学も含めた高校無償化の流れの中で、公立高校離れがとり沙汰されているが、県立高校でなおかつ普通科と競合することなく、専門学科の高校として中学生に目を向けてもらえるか、魅力の発信をすることが今度も重要だと感じた。本日は色々ご意見をいただければ幸いです。</p> <p>（2）議事</p> <p>①令和5年度学校評価報告書（実施結果）に基づく各グループ等からの報告</p> <p>○カリキュラム開発グループ【大嶺総括教諭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディーサプリは今の1年生で3学年すべて使っていることになりました。2年前に導入した時は取り組みが非常に悪かったですが、全部の学年でスタディーサプリを行うようになり、生徒の意識が変わってきたと感じます。今の1年生で例を挙げると、1学年の半数が課題をこなした後に最後までマスターするところまで行く生徒がいます。その点に関しては昨年度より意識が変わり良くなっていると感じる。</li> <li>・1年生の工業情報数理では算数・数学を中心に配信をしているが、情報Ⅰの講座で利用できる配信があつたりしますので、動画の発掘等を職員は頑張っていたきたいと考えている。</li> <li>・総合技術科では1年生全員計算技術検定と情報技術検定を受験しました。計算技術検定は昨年度より合格率が上がったが、情報技術検定は昨年度合格率が上がったが、今年度の合格者は少なかった。4年前と比べると非常に合格率が上がった。</li> <li>・電気系では、電気工事士を受験させていて、合格する生徒が増えてきた。職員で興味をもって一緒に練習や受験をしている。また、一緒に受験した職員が合格</li> </ul>

し、次の受験者に放課後指導ができ、電気系の職員の負担が軽減されている。

- ・総合ビジネス科では簿記や情報処理はどんどん合格している。

○学校管理グループ【伊藤総括教諭】

・両方の科の取組で、合同課題研究を今年も行い共有を深めました。次年度、両科の生徒が同じ講座を受講することが決まりました。両科の生徒と一緒に学ぶことに関しては少し進展をした。

・防災関係に関して、危機管理マニュアルの改訂作業を行っています。夏にDIGによる防災訓練は行ったが、実際に避難をする防災訓練を行ったが雨でしたので、校庭でなく体育館への避難訓練を行った。

・チームスの活用でペーパーレス化が進んでいるが、情報がチームスの中に散らばっていて探すのが非常に大変難しいため、紙として残さなければいけないものの検討が必要だと考える。

○企画研究グループ【中島総括教諭】

・上級学校や地域の企業と連携をさせていただいて、教育活動に生かされています。非常に感謝しています。

・HP やインスタの更新をしているが、まだ足りないとお言葉をいただいたのでもっと頑張っていきたいと思います。

・授業力向上研修会を校内で行いました。授業力向上の内容をインスタに更新しています。ご覧ください。今年度は経験年数が多い教員の授業を取り扱い、他の職員は生徒役で参加をした。また授業内でICTの活用の紹介など行いました。

・総合ビジネス科が1.21倍、総合技術科は1.16倍で2年連続倍率を超えることができました。本校の先生方の魅力発信の協力があり、学校説明会を全体で12回行いました。文化祭では生徒支援グループを中心として中学生を呼んでいただき、魅力発信に繋がったと感じる。来年度も気を引き締めて頑張っていきます。

○ガイダンスグループ【高木総括教諭】

・インターンシップや仕事の学び場の参加者が昨年度より増加した。より体験的な学習をすることができたと感じる。

・進路ガイダンスでは、講師として企業、上級学校、専門学校から招待し、お話をさせていただいている。複数チェック体制のおかげで、今年度も事故なしで乗り切った。

・令和6年度進路状況の考察をグループ内で行った。進学者は増加傾向にあるが、就職者は減少傾向となっている。就職に関して総合ビジネス科は、例年と変わりはないが、総合技術科の生徒の減少が顕著に表れている。また、縁故就職者が増加している。昨年度は9名だが、今年度は10名が縁故就職をした。就職者102名に対して1割の生徒が縁故就職となった。進学に関しては大学進学が増加しているが、専門学校の進学者は減少している。

・公共職業能力に進む生徒も増加傾向です。神奈川県内の就職・進学状況と同じである。

・本校は優良企業からの求人票が届いているが、通年優良企業から求人票が届くかは今後も動向を伺っていく必要がある。縁故就職者が増えている理由と

しては、それぞれの生徒に対応した教職員の印象になるが、自分の進路をより簡単にしようとしている生徒は増加傾向と感じており、今後さらに増えていくと感じる。また、大学を指定校で進む生徒も多く、遅刻が多い生徒も指定校で進学することができるため、進学する生徒に対しても指導をしなければならない。

- ・主体的に進路決定をすることが、ガイダンスグループとしての目標です。進路ガイダンスをする際などは自分の進路だから自分で考え、自分で調べて相談できる相手がいる場合は相談して決めていきましょうとお話をしている。

#### ○生徒指導グループ【遠藤総括教諭】

- ・今年度の学校状況について、今年は昨年度と比べ 10 件以上減り、特に SNS に関する特別指導が減った。また、1 学年のオリエンテーションでやってはいけないことをじっくり話したことや、各学年の先生方がまとめたため指導案件が減った。

- ・SNS に関して、神奈川県警からサイバー防犯ボランティアを行い、保土ケ谷警察と連携し、携帯電話教室を 1 学年の早い時期に行なった。来年度も引き続き行っています。

- ・校外では、近隣住民の方から苦情の電話をいただいているが、昨年度に比べると若干苦情の電話が減った。苦情の内容としては、自転車の交通マナーとバスの乗車マナーの苦情が大変多かった。バスの乗車マナーに関してはロングホームルームや学年集会等の場で各学年よりお話をしているが、生徒になかなか伝わらない部分があると感じる。このことについては、粘り強く今後も指導を続けて行きたいと思う。

- ・頭髪・服装の指導に関しては各学年の指導グループや担任を中心にして学校全体で今後も行って生きたと思う。

- ・SSW や SC と協力し、教育相談を行っている。SSW や SC がお話をしやすい空間づくりをしていただいているため、お話をしにくる方が増えています。

- ・昨年度から神奈川県が始めた、神奈川子どもサポートドックを今年度は 2 回実施した。アンケート集計をするため、アンケートを参考に SSW、SC に生徒をすぐに繋げることができ、生徒の困りごとを早期発見に役立てることができている。

- ・来年度に向け、頭髪・服装指導やバスの乗車マナーについての指導は今後も引き続き行っていく。

#### ○生徒支援グループ【加藤総括教諭】

- ・ここ最近では部活動が盛んに行われていると感じる。しかし、部活動加入率を上げるためにはアルバイトの問題について、現在商工高校は原則アルバイト禁止になっていますが、生徒はこのことについて全く認識できていない状況です。家庭の事情でアルバイトをしなければならない人や、欲しいもののためにアルバイトをする人、様々な生徒がいる中で学校としてどのように対応をするかが課題になると考える。

- ・学校行事の文化祭や体育祭の運営で目標にしているのは、ただ、盛り上げるのではなく、専門高校として特色のある学校行事を作っていくことを考えている。

・商工高校図書館の来館者数について、3年前に司書が変わったタイミングで、図書館の充実・図書館に足を運ぶ人数を増やして欲しい。などと、グループ内で話があった。背景としては生徒に活字に触れてほしいといった内容である。本校は5階に図書室があり、非常に足が向きづらい状況のため来館者数が少ない状況だった。3年前から状況を変えるために漫画を充実させ、まず図書館に足を運んでもらい、気になる本などを探して貰えればと考えた。今後も取組は継続し、来館者数を増やしていきたいと考える。

#### ○総合技術科

・4月に入学してくる生徒の電卓が新しくなります。いままでと使い勝手は結構違うものになります。

・神奈川工科大学に総合技術科2年生全員で行きました。

・進学する生徒が増えてきたことと、生徒自ら率先して大学を見に行く生徒が少ないため今回3月12日に学校見学をしました。また、来年度からDXが始まるため、神奈川工科大学で行っていることを参考にさせていただきたいと思います。

#### ○総合ビジネス科

・総合ビジネス科は会計・情報・流通の3つの系があります。この3月に卒業した3年生が1年生の時にカリキュラムが新しくなり、各系の特色をはっきりと生徒に提示した。

・今年からSHOKO SPARK DUOという2年生、3年生のプレゼンバトルを行った。今回は教員が選抜した生徒がプレゼンバトルを行った。同じ系の中での切磋琢磨することで生徒の能力をさらに引き上げることができたのではないかなと思う。今後もこのようなことは継続していきたい。

#### ② 意見交換会

##### 【兼田委員】

・商工ならではの資格や検定の取得を今後も続けて欲しい。

・インターシップの参加が多く、中学校になると職業体験がコロナ渦以降できていない学校もあり、商工はこういったことは続けて欲しい。

・今井小学校など、地域貢献をしている学校だと感じています。今後も続けて欲しい。

・チームスのペーパーレス化も中学校も進めている。中学校ではグループウェアを使用していますがまだ、うまく機能はしていない状況。

##### 【小澤委員】

・当たり前の挨拶を行なえているので今後も引き続き学校全体で取り組んでいただきたい。

・企業と連携して多様なことを行うのは商工高校ならではのと思います。

・SHOKO SPARK DUOを行ったことが素晴らしいと感じた。プレゼンテーション能力は社会にでも必要な能力で、話す力が養える授業ができる商工高校がすごいと感じた。工業系でもやって欲しいなと感じました。

##### 【塩原委員】

・入試の倍率が上がったことに関して、商品開発を含めた取組や部活動の取組を外に発信をしている取組が毎年毎年の取組で徐々に成果として表れていると思っています。このような取り組みを今後も続けて欲しい。

・メルマガの配信が少ないと感じています。もう少し配信を多くしてもよいと考える。

**【後藤委員】**

・倍率が上がったことについては、先生方の配信などの成果だと感じます。全国的にも専門系は定員割れしているところが多いなかで倍率が出たことに関してはすごいと感じた。

・教員を目指す子が少なくなって、厳しい状況です。基本的には専門高校からの志望する生徒が多く普通高校から工業の教員を目指す生徒が非常に少ないです。その中で、専門高校でも教員の魅力を少しでもいいので発信をしていただければと感じます。協力をしながら今後もよろしくお願いします。

**【小澤委員】**

・今年の卒業生の同窓会への加入率が高かった。学校に来ている生徒が同窓会のことを認知できるようにこれからも頑張りたいと思います。また、今ある部活動に関しても引き続き応援をしたいと思います。色々な内容を会報に載せたいと思っている。

**【塩原委員】**

・両科合同課題研究はどのような取組をするのか。

**【加藤総括教諭】**

・最大で総合技術科 12 名、総合ビジネス科で 12 名です。基本的の授業の形態は商工高校のプライベートブランドを作っていくことができればと考えています。他にも学校生活や日常生活で不便な部分の解消を考えたりするデザイン思考型の授業展開を考えている。

**【塩原委員】**

・1年後の成果を楽しんでいます。

**【中島総括教諭】**

・今回、神奈川工科大学に学校見学をさせていただいた際に普通科の職員、総合ビジネス科の職員も帯同し、ヒントをいただいた。

**【川島校長】**

・課題研究ですと共通教科の教員が参加する出番がありませんが、今回のDXに関しては共通教科の教員にも協力をいただくことになった。1年目からは素晴らしいものをつくることは難しいとは思いますが、頑張っていきたいと思っています。